

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行；中津市議会議員 大塚正俊 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
 携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
 URL (ホームページ) <http://www.m-ohtsuka.com/>



“災害は忘れる暇なくやってくる”

7月10日、大分県北部に線状降水帯が発生し、耶馬溪町で日降水量270.5mmを観測。山国川の氾濫や土砂崩れ、家屋の浸水が相次いで発生しました。

被害状況は、死者1名、建物被害135件、市の土木関係施設等246件、農林水産関係施設等505件など、甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方にお悔み申し上げますとともに、被災した皆様方にお見舞い申し上げます。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われてきましたが、今や「災害は忘れる暇なくやってくる」のが現状です。改めて日頃の防災対策がいかに大事かを痛感させられました。

私も、被災地域の日も早い復旧、復興に取り組むとともに、防災・減災対策を推進し、安全で安心なまちづくりに向けて頑張ります。

中津市議会議員 大塚 正俊



荒れ狂う山国川（耶馬溪町城井橋）

■令和5年第3回（9月）定例市議会で決まったこと。【抜粋】

令和5年第3回定例市議会（9月議会）は、9月4日から29日の26日間開催されました。令和4年度一般会計決算の認定等決算議案12件、令和5年度一般会計補正予算等の予算議案6件、条例議案4件、その他議案4件、人事案件1件、報告案件4件、請願2件、決議4件、意見書2件の計39件が上程され、請願第5・6号、意見書第9号を不採択、継続審査となっていた請願第2・3号を採択し、その他の議案を原案どおり可決しました。なお、決算議案12件は10月3日から6日に審査され、12月議会で採決が行われます。

1. 令和5年度一般会計補正予算（第3・4号）；補正額36億7,255万円

（補正後予算額492億7,115万円）

《新規・拡充事業（抜粋）》

□令和5年7月豪雨災害復旧費；31億8,899万円

・農地及び農業用施設災害復旧事業（被災箇所；467件）

；9億9,228万円

・林業用施設災害復旧事業（被災箇所；195件）

；8億6,734万円



被災した耶馬溪町栃木川護岸

- ・道路災害復旧事業（被災箇所；146件）；7億895万円
- ・河川堤防災害復旧事業（被災箇所；102件）；6億8,707万円
- ・その他災害復旧事業；1億7,809万円

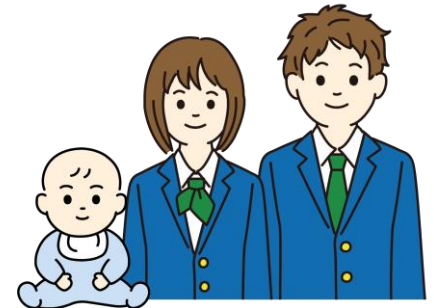
槻木簡易水道、猿飛千壺峡遊歩道、津民・山国河川プール、やまくにスポーツパーク、羅漢寺橋など（被災箇所；20件）



被災した山国河川プール

□インフルエンザ予防接種費用助成事業；96万円

- ・令和5年10月からインフルエンザ予防接種費用の現行（生後6ヶ月～15歳）を18歳まで拡充し、予防医療の推進を図る。
- ・助成金額；1回の接種につき上限2,000円
- ・助成回数；1回、実施期間10月～1月
- ・接種見込み人数（16歳～18歳）；454人



対象者を18歳まで拡大

□子ども医療費助成事業；187万円

- ・令和6年4月1日から、保護者の扶養に入っている16歳～18歳の子どもを対象に、子ども医療費の助成を拡充するため、システム改修や個別通知等の準備を進める。
- ・拡大対象人数（16歳～18歳）；約2,300人
- ・システム改修委託料、発送費等事務費等
- ・入院については、医療費の自己負担分全額を助成
- ・通院については、1回の受診につき上限額500円、1ヶ月あたり1医療機関につき上限額2,000円（上限500円×4回の受診）の自己負担で、それを超える医療費の自己負担分全額を助成

※令和4年度の子ども医療費の助成額の見込みは2億6,190万円。令和6年度に高校生まで拡大すると2,731万円の一般財源がさらに必要となる。

□公共施設等整備基金積立金事業；7,808万円

- ・公共施設の老朽化に伴う整備・更新等のため、令和4年度市営駐車場の収益、土地売却収入を原資として、公共施設等整備基金へ積立を行う。
- ・補正後基金残高見込額；12億5,803万円

□戸籍附票システム改修事業；185万円

- ・改正戸籍法の成立に伴い、戸籍等に氏名のふりがなを記載し、マイナンバーカードへ氏名のふりがな及びローマ字表記の情報を追加・一致させるため、戸籍附票システムの改修を行う。

□特殊詐欺等被害防止対策推進事業；60万円

- ・多発する特殊詐欺被害防止対策として迷惑電話防止機能付き電話機の購入費の2/3（上限1万円）を県と連携し補助する。
- ・令和5年4月1日より要件を緩和（65歳以上の者と同一世帯）した新基準を適用したことにより、申請件数の増に伴う増額補正 ※当初80件+9月補正60件=合計140件分



迷惑電話防止機能のイメージ

□DX推進事業；187万円

- ・庁内の会議改革を推し進めるため、議事録作成支援ツール、ディスプレイ機器（2台）等を導入する。

- 観光看板整備事業（福岡・大分 DC 関連）；690 万円
 - ・令和 6 年春開催の福岡・大分デスティネーションキャンペーン（DC）に向けた看板設置
 - ・メイプル耶馬サイクリングロード案内 12 ヶ所、八面山 PR 看板・ロードサイン 2 ヶ所、競秀峰注意喚起看板 8 ヶ所、桧原山展望看板 1 ヶ所、深耶馬溪案内看板 1 ヶ所、山国猿飛千壺峡案内看板 4 ヶ所

【看板イメージ】

八面山PR看板



- クルーズ船歓迎事業；311 万円
 - ・令和 5 年 11 月 13 日、令和 6 年 1 月 13 日に中津港へ寄港予定のクルーズ船（につぼん丸）の歓迎イベント等に要する経費
- 経営所得安定対策直接支払推進事業；154 万円



中津港に寄港したにつぼん丸

- ・土地改良区決済金等支援補助金；104 万円
 - 令和 5 年度に畑地化に取り組む農業者に対し、畑地化に伴い土地改良区に支払う「地区除外決済金等」を支援する。
- ・経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金；50 万円
 - 農林水産省が令和 5 年度に示した「5 年水張ルール」に対応するため、農業再生協議会に対する補助金を増額補正（補正後予算額）8,992 千円

- 栃木宮ノ馬場線災害防除事業；2,310 万円
 - ・市道栃木宮ノ馬場線における落石防止ネット設置工事
 - ・落石防止対策工事 L=33m
- 排水施設管理事業；288 万円
 - ・角木仮設ポンプ場の通年稼働に要する経費を増額補正
 - ・期間；11 月～3 月、県道工事、角木雨水ポンプ場工事に伴う一時的な排水のため



通年稼働する角木仮設ポンプ場

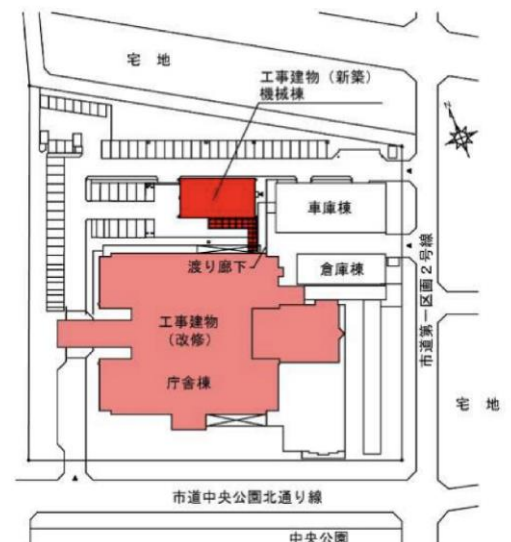
2. 条例の制定・改正（抜粋）

- 中津市自転車等の駐車秩序に関する条例の一部改正について
 - ・東中津駅駐輪場及び今津駅駐輪場を中津市公共自転車等駐車場に加え、これらの駐輪場を適切に管理するための条例改正

3. 工事請負契約の締結について

- 本庁舎機械棟新築工事
 - ・契約金額；2 億 9,590 万円
 - ・工事概要；建築工事一式（鉄筋コンクリート造 4 階建、延床面積 685 m²）
- 本庁舎機械棟機械設備工事
 - ・契約金額 3 億 7,840 万円
 - ・工事概要；機械設備工事（空調設備、自動制御設備）
- 本庁舎機械棟電気設備工事
 - ・契約金額 3 億 5,200 万円
 - ・工事概要；電気設備工事（受変電設備、キュービクル、自家発電設備）

本庁舎機械棟新築工事位置図



4. 請願

- ・第2号 小・中学校給食費の無償化を求める請願書【採択】
- ・第3号 学校給食費の無償化と18歳までの医療費無料化を求める請願書【採択】
- ・第5号 健康保険証の廃止方針の撤回を求める請願【不採択】
- ・第6号 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書【不採択】



※私の会派は、請願第5号・6号の健康保険証廃止方針の撤回を求める請願に賛成しました。

5. 決議【すべて採択】

- ・第2号 豪雨災害からの早期復旧支援、復興支援を求める決議
- ・第3号 一般会計補正予算の農地及び農業用施設災害復旧事業費について農業者の負担軽減を求める附帯決議
- ・第4号 請願第2号の小・中学校給食費の無償化に当たっては多額な一般財源が必要なことから、安定財源を確保し、持続可能な行財政運営を行うことを求める附帯決議
- ・第5号 請願第3号の小・中学校給食費の無償化、医療費無料化に当たっては、多額な一般財源が必要なことから、安定財源を確保し、持続可能な行財政運営を行うことを求める附帯決議



耶馬溪町妙ヶ野地区農道・水路

6. 意見書

- ・第8号 健康保険証の廃止にあたっては、国民への説明責任を果たし不安を払拭するために万全の対策を行うとともに、マイナ保険証の制度とシステムが安全で、確実なものになることを求める意見書【採択】
- ・第9号 健康保険証を廃止しないように求める意見書【不採択】

9月議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 7月豪雨災害を踏まえた対策

- ①道路冠水、家屋浸水被害対策
- ②トイレ等の排水機能停止対策
- ③避難所のあり方 ④被災者相談窓口の一本化

2. 街なか居住の促進に向けて

- ①立地適正化計画の居住誘導区域内の空家、空地の現状
- ②居住誘導区域への誘導策

3. 新型コロナウイルス感染者状況の公表

- ①現在の感染状況と過去のデータとの比較方法
- ②中津市独自の感染者数の把握と公表

4. フッ化物洗口の安全確保に向けて

- ①1学期末のフッ化物洗口中止の経過 ②今後の対応策



1. 7月豪雨災害を踏まえた対策（抜粋）

〔情勢〕 今回の豪雨災害では、市内各所で家屋浸水（36軒）や道路冠水（59ヶ所）が発生しました。大雨が降るたびに家屋や道路が冠水し、現在の対応ではいつまでたっても解消にはいたりません。

（1）道路冠水、家屋浸水被害対策

＜質問＞ 災害に強いまちを創るためには、雨水処理計画図などに各豪雨により道路冠水や床上・床下家屋浸水したエリアを図化し、具体的な対策を講じていく必要があると考えます。

そこで、今回の浸水したエリアにおける、護岸の嵩上げや排水ポンプの設置・能力強化、排水路の機能強化、地下貯留槽の設置などの今後の対策をお伺いします。

【答弁】 今回浸水したエリアについては、必要な調査を行い、地形や宅地化状況などの現場条件を十分勘案し、強制排水施設の整備や排水路の機能強化などの対策を考えていきます。



20cm以上冠水した道路

＜質問＞ 小祝地区では家屋の床下浸水が発生しました。小祝ポンプ場の排水能力の強化が急務と考えますが如何ですか。

【答弁】 今回の豪雨で床下浸水が確認されましたので、現場条件に即した排水機能の強化を考えていきます。

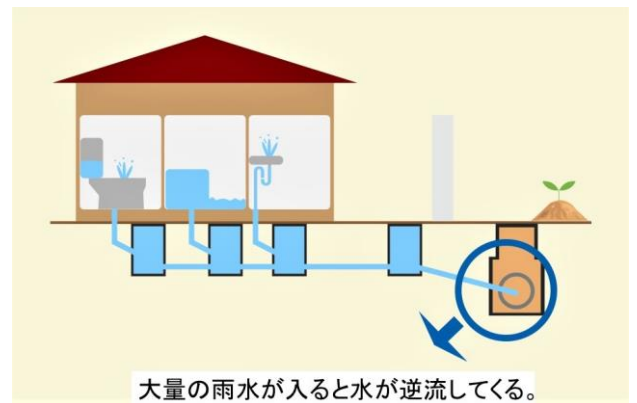


能力不足の小祝ポンプ場

（2）トイレ等の排水機能停止対策

〔情勢〕 今回の豪雨によって、新大塚、閻無地区の民家のトイレの水が流れない、汚水が逆流したという苦情を沢山の方から受けました。

原因は、下水処理場の処理能力を超える流入により汚水が流れなくなったためです。中津終末処理場への流入水量は無降雨時には約 10,000 m³/日に対して 7月10日には 46,712 m³/日と分流式（汚水のみ処理する方式）の下水道ではありえない4.6倍もの不明水（雨水）が流れてきたことになります。



大量の雨水が入ると水が逆流してくる。

＜質問＞ 下水管きょに流入する漏水防止対策や建築の際の雨水の下水道への接続の有無の確認、敷地内の汚水枳の開放禁止などの周知徹底が必要と考えますが如何ですか。

【答弁】 今後、旧式のマンホールや下水管きょ等の老朽化施設の更新や修繕を計画的に実施し、不明水の減少に繋げていきます。また、住宅の雨水配管の誤接続の現地確認や自宅敷地内の汚水枳の開放禁止の広報や周知をしていきます。

（3）避難所のあり方

〔情勢〕 7月10日9時15分に三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地域（6,056世帯 12,509人）に緊急安全確保が発令され、市が開設した避難者数は15時30分時点で42世帯 77人と公表されています。しかし、これ以外にも地区集会所等に避難された方が多数おられます。「地区集会所に避難したけど、テレビも映らず情報がなく不安だった。」との声を頂きました。

＜質問＞土砂災害ハザードマップにおける緊急避難所の多くは地区集会所等となっています。身近な避難所である地区避難所ではテレビ受信ができないところが多数あります。

そこで、テレビが受信できる設備の整備を実施すべきと考えますが如何ですか。



【答弁】自主的に避難された災害リスクの低い地区集会所であれば、情報収集手段として自主防災組織活動事業費補助金(2/3 補助)を使い、テレビの購入やテレビが受信できる設備の整備ができるよう支所と調整をしています。

(4) 被災者相談窓口の一本化

＜質問＞被災された方の相談は、旧下毛の各支所総務住民課では電話でも窓口でもワンストップサービスを受けられますが、本庁ではたくさんの課にまたがっています。

そこで、臨時の被災者総合相談窓口や災害相談専門ダイヤルの設置、災害コンシェルジュの配置などにより、被災者の不安解消に努める必要があると考えますが如何ですか。



北茨木市で設置された災害相談窓口

【答弁】今後、災害の状況により必要な場合は、被災者のための被災者相談窓口等を設置するなど、迅速な被災者支援を行えるよう努めていきます。

2. 街なか居住の促進に向けて（抜粋）

〔情勢〕本年3月末の市内全域の空き家数は2,384件、うち旧中津市内1,726件となっており、増加傾向にあります。特に、居住誘導区域を含む中心市街地に多く分布しています。

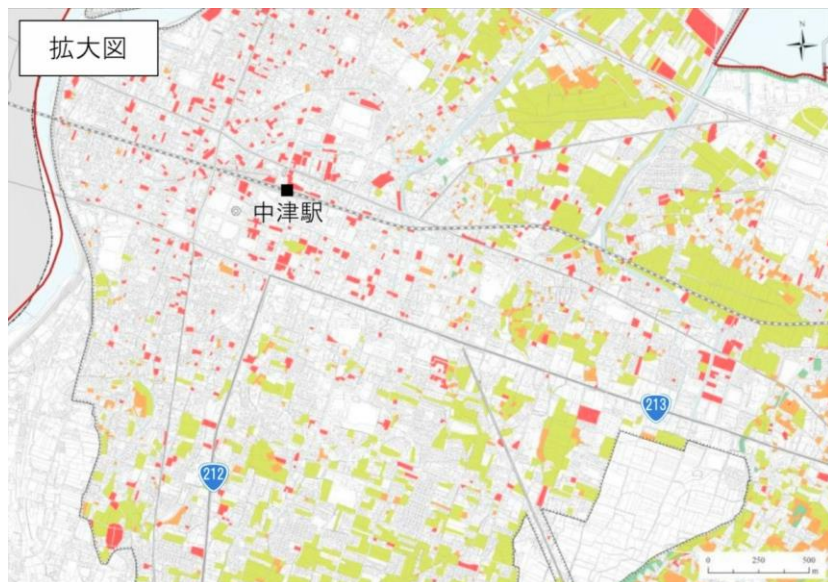
今後、さらに中心市街地において空き家・空き地が増加し、防犯や地域コミュニティの面も含め、暮らしの質が低下していくことが懸念されます。

(1) 居住誘導区域への誘導策

＜質問＞現在、旧中津市内の空き家や空き地の利活用に対する補助金制度がありません。「街なか居住」を誘導するため、新たな支援策を創設すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】居住誘導に向けた新たな支援策を講じることは、空き家の増加や人口密度の低下を抑えるのに有効であると考えています。

そこで、空き家バンクの利活用や街なかへの住み替えなど、居住誘導に繋がる支援策を創設していきたいと考えています。



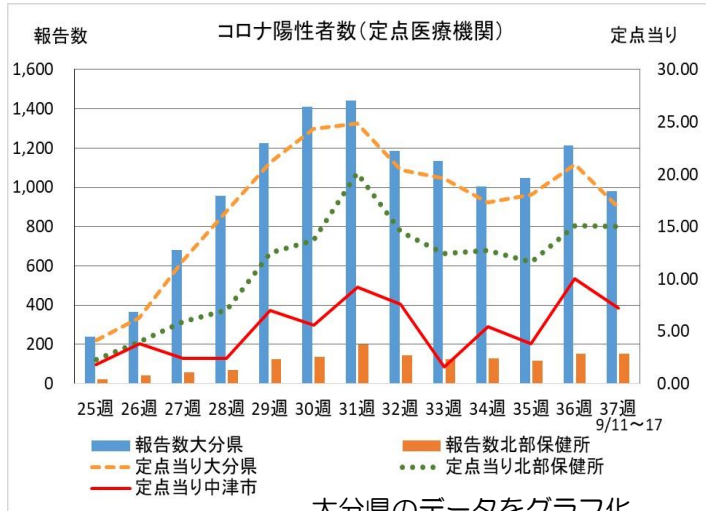
空き地等の低未利用地分布図（赤点）

3. 新型コロナ感染者状況の公表（抜粋）

〔情勢〕新型コロナは5月8日に「2類相当」から「5類」に移行し、全ての感染者を毎日把握する「全数把握」から、全国約5,000ヶ所の定点医療機関で1週間毎の感染者数を把握する方式に変わりました。

そのため、「感染者全員の人数を確認できなくなって流行が分かりにくくなった。他市のように実数を出してほしい。」という声を沢山いただいています。

（1）中津市独自の感染者数の把握と公表



＜質問＞新型コロナウイルスの感染者増加を受け、大分県は8月1日、流行の状況を県民に分かりやすく伝える独自基準を設けました。しかし、中津市内の患者数や感染動向は分かりません。

そこで、中津市医師会や市内医療機関の協力を得て、新型コロナ感染症の患者数（報告実数）を独自に公表できないか伺います。

【答弁】新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から、感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同等の5類に移行され、感染症の発生状況等については、定点報告により把握することとされています。

そこで、中津市のホームページ等を通じて、感染者数ではなく大分県が公表する中津市内の定点当りの感染者数等の感染情報を発信していきます。

4. フッ化物洗口の安全確保に向けて（抜粋）

〔情勢〕中津市では、子どもの歯の健康増進のため、はみがき指導・食に関する指導と共に、平成30年度よりフッ化物洗口を段階的に導入しています。これまで、薬剤師が安全な濃度に調整したフッ化物洗口液を作製し、週1回小・中学校でブクブクうがいを行ってきました。

しかし、7月18日、「市内の学校に配付しているフッ化物洗口液の濃度にばらつきがあること判明し、明日以降の1学期のフッ化物洗口を中止し、2学期からは原因と対応策を明確にした上で再開する。」とのメールが保護者に届き、「フッ化物洗口に不安を感じている。」との声を頂きました。

（1）今後の対応策

＜質問＞令和元年4月には、洗口液に異物が混入し、市内19校で児童2,085人が使用してしまったという事故が発生しています。フッ化物洗口事業の開始当時は、「調製済みの洗口液を使用する」と議会で答弁していたはずですが。ヒューマンエラーは起こりえるものと認識し、子ども達の安全を守るためには「調製作業の必要のない洗口液」を使用すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】8月25日、保護者に向けて「粉末のフッ化物洗口製剤の溶解、希釈方法について、より安全な方法として、一度に攪拌・希釈する量を半分にし、さらに溶解する時間を十分にとることとし、2学期から再開します。」との通知を出しました。

しかし、再度検討を行い、9月7日付けで改めて保護者あて通知を出し、2学期より調整済液体製剤オラプリス(右写真)を利用することとしました。



活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活 動 内 容
7月1日	(土)	中津南高同窓会総会&懇親会
7月3日	(月)	6月議会自由討議、議会運営委員会、会派会長会
7月5日	(水)	6月議会最終日、議会運営委員会、市役所退職者会総会
7月8日	(土)	北部校区なごさサロン役員会
7月9日	(日)	新大塚町自治会役員会
7月10日	(月)	豪雨災害現地調査(12日まで)
7月13日	(木)	豪雨災害ボランティア(山国町)、地区労働者福祉協議会定期総会
7月14日	(金)	豪雨災害ボランティア(山国町)
7月15日	(土)	北部校区なごさサロン
7月18日	(火)	原水爆禁止平和行進&市長・議長要請
7月20日	(木)	豪雨災害ボランティア(山国町)
7月21日	(金)	地方自治研究大分県集会(22日まで)、新大塚町夏休みラジオ体操(8/24まで)
7月23日	(日)	新大塚町救急救命講習会
7月26日	(水)	執行部事前協議(災害対応予算)、北部公民館運営委員会
7月27日	(木)	県議・市議・中津商工会議所役員懇談会
7月29日	(土)	中津祇園(30日まで、諸町)
7月31日	(月)	2040未来ビジョン出前セミナーin久留米
8月4日	(金)	人口減少対策特別委員会視察(豊後高田市)
8月5日	(土)	中津南高32回生還暦+2同窓会幹事会、北部校区なごさサロン役員会
8月6日	(日)	新大塚町内納涼盆踊り大会練習
8月8日	(火)	中津市自治研究センター総会&ミニ研
8月12日	(土)	初盆家庭お参り
8月14日	(月)	新大塚町内納涼盆踊り大会
8月18日	(金)	9月議会一般質問通告書提出、予算書・決算書の読み方セミナー(Web会議)
8月19日	(土)	市町村アカデミーOB会研修会(広島市、神戸市、赤穂市21日まで)
8月23日	(水)	県体議員ソフトボール練習試合
8月25日	(金)	9月議会招集、議案発送、執行部と一般質問通告の打合せ
8月26日	(土)	鶴市花傘鉾祭り神輿巡行(大塚町)
8月28日	(月)	農家民泊みどりさん家稲刈り体験(29日まで)
8月31日	(木)	議会運営委員会、会派会長会
9月2日	(土)	大分県県民体育大会「議員ソフトボール」
9月4日	(月)	9月議会開会日、議会運営委員会
9月8日	(金)	9月議会一般質問(1日目)、産業建設消防委員会協議会
9月10日	(日)	大分県県民体育大会「議員リレー(4×100m)」応援、新大塚町自治会役員会
9月11日	(月)	建築士会中津支部役員会
9月12日	(火)	9月議会一般質問(2日目、登壇)、会派会長会
9月13日	(水)	9月議会一般質問(3日目)、産業建設消防委員会正副委員長会議
9月14日	(木)	9月議会一般質問(4日目)、議会運営委員会、人口減少対策特別委員会
9月17日	(日)	新大塚町長寿をともに祝う会、新大塚町防犯パトロール
9月19日	(火)	教育厚生委員会(障害児通所支援事業との意見交換会)傍聴
9月20日	(水)	9月議会議案質疑、人口減少対策特別委員会(移住支援中津との意見交換会)
9月21日	(木)	産業建設消防委員会(災害現地調査)、中津ビジョナリーシティ創造会議発表会
9月22日	(金)	9月議会産業建設消防委員会
9月24日	(日)	第2回しもげ大軽トラ市
9月26日	(火)	中津商工会議所90周年記念式典・講演会・祝賀会
9月27日	(水)	9月議会自由討議、市議会防災研修会
9月28日	(木)	北部校区避難所運営訓練に係る準備会
9月29日	(金)	9月議会最終日、議会運営委員会
9月30日	(土)	太宰府市民政庁まつり



災害ボランティア(山国町)



中津祇園(諸町)



鶴市花傘鉾祭り(大塚町)



農家民泊稲刈り体験



新大塚町長寿を共に祝う会



しもげ大軽トラ市

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊オフィシャルHPで検索して下さい。



編集後記(ひとりごと) 今年の夏は尋常じゃない暑さでした。中津祇園や鶴市花傘鉾祭りも通常開催に戻りましたが、暑さのために途中でリタイアしました。酷暑や局地的な集中豪雨、巨大台風の襲来など、地球沸騰化対策は待ったなしです。(まさとし)